

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部(文化振興局)
	27015	関の山車会館整備事業	室名	まちなみ文化財室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	会計	01:一般会計
	基本施策	05:歴史的なまちなみの保存整備	款	10:教育費
	施策の方向	01:関宿の伝統的建造物群の保存の推進	科目	05:社会教育費
戦略プロジェクト	02:まち磨きプロジェクト	目	08:町並み保存費	
事業予定期間	H 27 ~ H 30 年度		主な根拠法令要綱等 歴史まちづくり法・三重県文化財保護条例・亀山市文化財保護条例・博物館法	

② 目的・概要	対象	市民・保存会・関宿来訪者
	目的	「関の山車」を保存・展示するとともに、祭囃子等の伝承活動の拠点として「関の山車」会館を整備し、その保存を図る。あわせて、関宿見学の拠点施設として、見学者との交流により、関宿の新たな魅力づくりと地域振興を図る。
概要	平成27年度に施設整備基本計画の検討及び策定を行い、用地や施設規模などを明確にした上で、平成28年度に用地購入や設計等を実施し、平成29年度から関の山車会館の整備工事に着手する。	

		平成27年度	平成28年度			
③ 年度別事業計画	計画額 予算額	事業費	71,000千円			
		国庫支出金	35,500千円			
		県支出金	690千円			
		地方債				
		その他				
		一般財源	0千円	34,810千円		
		事業費	0千円	71,000千円		
		国庫支出金		35,500千円		
		県支出金		690千円		
		地方債				
その他						
一般財源	0千円	34,810千円				
期間内総事業費(H27・H28)①		71,000千円	期間外事業費(H29以降)②	249,000千円	総事業費 (①+②)	320,000千円

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
①	名称	関の山車会館整備 進捗率		
	補足	実施済み事業費/総事業費	22	69
②	名称			
	補足		%	%
③	名称			
	補足			
④	名称			
	補足			

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部(文化振興局)
	27015	関の山車会館整備事業	室名	まちなみ文化財室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財 会計	01:一般会計
	基本施策	05:歴史的なまちなみの保存整備	務 款	10:教育費
体系	施策の方向	01:関宿の伝統的建造物群の保存の推進	科 項	05:社会教育費
	戦略プロジェクト	02:まち磨きプロジェクト	目 目	08:町並み保存費

② 目的・概要	対象	市民・保存会・関宿来訪者
	目的	「関の山車」を保存・展示するとともに、祭囃子等の伝承活動の拠点として「関の山車」会館を整備し、その保存を図る。あわせて、関宿見学の拠点施設として、見学者との交流により、関宿の新たな魅力づくりと地域振興を図る。
概要	平成27年度に施設整備基本計画の検討及び策定を行い、用地や施設規模などを明確にした上で、平成28年度に用地購入や設計等を実施し、平成29年度から関の山車会館の整備工事に着手する。	

		27年度	28年度
①	名称	関の山車会館整備 進捗率	計画値 22
	補足	実施済み事業費/総事業費	実績値 21
			単位 %
②	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・用地購入 ・土地鑑定・測量 ・埋蔵文化財調査 ・全体整備案作成 ・実施設計 				<ul style="list-style-type: none"> ・用地公有化 ・施設配置設計(基本設計) ・埋蔵文化財発掘調査 ・地域交流施設新築工事実施設計(平成29年度へ明許繰越) ・伝承活動棟及び展示棟改修工事実施設計 							
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	2,197	平均給与額×③		
		事業費	71,000	71,000	46,781	一般職員人件費 ②	2,197	0.30			
		国庫支出金	35,500	35,500	22,805		所要人員 ③			0	
		県支出金	690	690	286						臨時職員人件費 ④
		地方債		0							
		その他		0		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥			
		再掲	翌年度への繰越額		4,968						
			前年度からの繰越額		0						
			総人件費		①	2,197					
			総コスト		⑥	48,978					

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	関の山車会館の整備に向けて整備用地の公有化、施設の条件整理等を行う施設配置設計、既存の歴史的建造物の保存修理及び山車を展示収蔵するために新築する地域交流施設の工事実施設計、埋蔵文化財の発掘調査等を実施することができた。	総合判定	B
	【反省点・課題】	伝統的建造物群保存地区の面的な公開活用を推進させる必要がある。また、事業内容について地域関係団体等との意見交換など、十分な調整を行うとともに整備後の管理運営体制を精査する必要がある。	まずまず進んだ	
	【改善の方向性】	関の山車会館を開館させることにより、来訪者を関宿の東部分まで誘導することが可能となる。また、将来的には地域の方々に自主的に運営に参画していただけるよう促していく。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: まちなみ文化財室長 山口 昌直	